

審 議 経 過

1 開会

2 会長あいさつ

3 協議事項

（1）令和6年度地域包括支援センター事業の主な取組み状況

ア いきいき百歳体操開催状況

（※資料P1～2）

イ 介護予防・日常生活支援総合事業（べんりカーやましろ号）

（※資料P3～6）

《 質疑応答 》

【委員】

- ・ 4月から伊万里～松浦間のバスは廃止となるため、利用者は今後増えていくと思う。（バスに）今まで1日1回利用していた人や病院に来るために乗って来る方、そういう人たち全員がべんりカーに乗るのではないかと感じている。もし利用者が溢れてしまったとき予算はあるのか。

【事務局】

- ・ 利用者が増えるにあたっての予算として、ボランティア謝金を1人の利用者につき200円お支払いしている。利用者に応じてそのお金はお支払いするようにしており、予算は余裕をもって確保している。

【委員】

- ・ べんりカーをもう1台増やすとなったときは別問題になるのか。

【事務局】

- ・ 車両については、1台当たり50万円の補助をするようにしており、始めた当初は2～3台になることを想定していなかった。車が増えることになれば考えていきたい。

【委員】

- ・ ドライバーをされている知人に「5分遅れただけで目の前でキャンセルされ、がっかりした」、「病院に迎えに行った帰りに急きょ買い物して行きたいから回る」という事を聞いた。利用者が優位に立ってきていると感じるため、お互い感謝の気持ちが必要ではないかと思う。5分遅れてキャンセルするというのは良くないと思っている。

【事務局】

- ・ ドライバーの意見交換会に包括職員も参加をしているが、そういう話は聞いていなかった。中には病院に送った後、その間に別の人の送迎を入れるという組み立てをし、遅れるかもわからないと前置きをして待っていただいているそう

審 議 経 過

だが、いくらでも待つから迎えに来て、と言われると聞いていた。そういう良い話ばかりではなく別に現場の声もあるということで受け取りたいと思う。

【委員】

- ・ もうバスがなくなってしまうため、4月から重要な役目になる。ある意味ではこういうものがあつたからバス利用者が少なくなってしまったというのもあると思う。責任持って最後までやってほしい。

【事務局】

- ・ べんりカーの連絡調整員をされている方は、以前はボランティアでされていたが、現在は集落支援員として山代コミュニティセンターに勤務をされるようになった。もし、その方がその役目を降りた場合は次の集落支援員をされる方がその役を担っていただくということで、継続的に実施ができるような働きかけをしている。

ウ 成年後見サポートセンターの取組み（※資料P7～12）

エ 認知症高齢者等あんしん登録事業（※資料P13～16）

《 質 疑 応 答 》

【委員】

- ・ （成年後見サポートセンターについて）相談件数が3倍も増えている。今から先はもっと増えると思うが、仕事は大丈夫か。

【事務局】

- ・ 現在、専任の職員が1人と、サブの担当が1人で対応していると聞いている。

【委員】

- ・ それで大丈夫ということか。

【事務局】

- ・ 現在のところ、対応できている。

【委員】

- ・ （認知症高齢者等あんしん登録事業について）自宅でもし行方不明になったときに、昔住んでいた場所に行く可能性があったりする。前に住んでいた家の履歴を取っておくと、見つける確率が上がりやすくなると思う。

【事務局】

- ・ 履歴としては、令和2年から事業が始まった当初のものからあるが、名前、生年月日などの基本情報から、行きそうな場所、対応の仕方なども記載をしていただくようにしている。

【委員】

- ・ そこに昔の住所などわかれば1つ書いてもらおうと、よりいいと思う。

【事務局】

審 議 経 過

- ・ わかりました。

オ 生活支援サービスマップの作成（※資料 P 17～25）

《 質 疑 応 答 》

【委員】

- ・ こういうものがあるとサービスを紹介する側としてもすごく助かるが、字が小さいと感じた。マップがポイントだと思うが、マップがあるゆえにまた字が小さくなっているのを感じる。

【事務局】

- ・ 介護保険外のサービスを提供するときに高齢者向けサービスの手引きと一緒にこのマップを出して紹介するイメージでいた。確かに作ったときにマップがあるゆえに活字が大変小さくなってしまったと思ったため、見やすさについては改善をしたい。

【委員】

- ・ 利用者は何歳ぐらいを想定しているのか。高齢者対象だと小さいと思う。

【委員】

- ・ 必要なものを入れたら小さくなる。（インフォーマル冊子の）表紙には地域包括支援センターと大きく書いてある。作るときに他市町のものを参考にしてはどうか。

【事務局】

- ・ わかりました。

【委員】

- ・ 確かに、ぱっと見て一目で全部ある程度分かるので必要だと思うが…。

【事務局】

- ・ 高齢者向けサービスの手引きに関しては、伊万里市の地域包括ケアシステムの姿ということで、医療・介護・住まいなど全てを入れているので本当に字が小さくなっている。この表紙の図に関しては1つ1つ見ていただくというよりも、様々な所と連携をとってケアシステムはできているというイメージとして見てほしいという想いがある。

【委員】

- ・ そういう意味ではあまり細かく1つ1つの事業を書きすぎない方がいいのかもしれない。でも、見えなかったらどうしようもないと思う。

【事務局】

- ・ 検討したい。

カ 業務継続計画の実施報告（※資料 P 26）

審 議 経 過

《 質 疑 応 答 》

- ・ なし

（２） 地域包括支援センターの事業評価を通じた機能評価
（※資料 P 27 ～ 28）

《 質 疑 応 答 》

【 委 員 】

- ・ 27 ページの今後の取り組みで、議事録を作成し共有するとあるが、どのような形で共有するのか。

【 事務局 】

- ・ 議事録や検討事項については課内で取りまとめ課題として共有していたが、外部の方まで提供をしていなかった。そのため、それを今準備している。議事録検討事項については、その時に一問一答で質問があったため、それを取りまとめたものと、ケースの課題と方向性についてまとめたものを各委員にお渡しをしようと思っている。

【 委 員 】

- ・ 大変だが、よろしくお願いします。

（３） 令和7年度地域支援事業及び予算（※資料 P 29）

《 質 疑 応 答 》

【 委 員 】

- ・ 相対的には高齢者が増えてきて事業費そのものが膨らんでいくと思う。事業費というのは年々膨らんでいく方が動いているということになる。これでやっていけるのか。

【 事務局 】

- ・ はい。

（４） 介護予防ケアマネジメント業務委託事業所の選定について
（※資料 P 30 ～ 31）

【 事務局 】

- ・ 承認事項の審議をお願いします。 → 《 承認された 》

（５） その他

5 閉会